

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 4 年次 5 月～6 月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 事前・事後指導（1 単位）に加えて 中学校一種免許及び高等学校一種免許を取得しようとするものは 中学校又は高等学校で 4 週間（4 単位）（総時間数：180 時間） 高等学校一種免許のみを取得しようとするものは 中学校又は高等学校で 2 週間（2 単位）（総時間数：90 時間）の教育実習を行う。
③	実習校の確保の方法 グループ関連高等学校・埼玉県内の私立高等学校等並びに埼玉県・さいたま市の教育委員会を通して中学校・高等学校を確保した上で、実習生が希望する実習校を選択し、内諾を得る。
④	実習内容 教育実習の内容は①観察、②参加、③実地授業からなる。 ① 「観察」とは、学部で理論的に学んだことを基礎として、実際の教育場面に応じて生徒を観察し、理解することである。 ② 「参加」とは、指導教員の指導の下に、実際の教育場面における諸活動に参加して、教師の仕事の内容を体験的に理解することである。 ③ 「実地授業」とは、実際の教育場面の一部を、指導教員の指導の下に分担し、学習指導について体験的に理解することである。 この三つの活動は、教育実習の時間的な順序と考えることもできるが、一方で、三者は内容として一体化して行われる場合が少なくない。教育実習を行う場合には、その全期間を通して、三者をしだいに積み重ねてゆく考え方に立ち、その中で重点を移行させて方法をとることになる。
⑤	実習生に対する指導の方法 教育実習期間中に、教職課程の担当教員または指導教員が実施校を訪問し、1 回以上の巡回指導を実施する。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 （1）実習校からの教育実習評価表（別紙 1） （2）実習記録（教育実習簿、観察・参加記録、学習指導案） （3）事前・事後指導の成績 （4）試験の成績 これらを教育実習運営委員会内の実習判定会議にて、総合的に成績評価する。

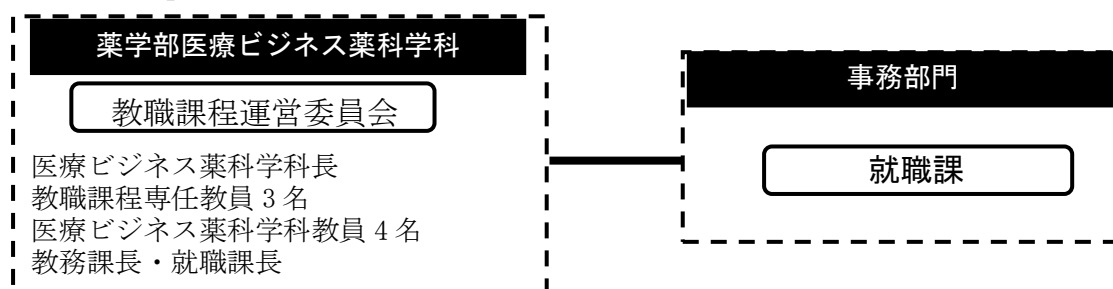
2 事前及び事後の指導の内容等
<p>① 時期及び時間数</p> <p>【事前指導】 4年次の4月（8時間）</p> <p>【事後指導】 教育実習終了後2週間以内（8時間）</p>
<p>② 内容（具体的な指導項目）</p> <p>【事前指導】 以下の項目について講義を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教師としての心構え ②保健と安全指導、特別支援教育 ③学校運営と教師の仕事および責任 ④生徒指導と学級経営 <p>【事後指導】 実習生を集め、以下のような省察と今後の課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育実習で経験したこと、学習したことを再認識する ②他人(他の実習生)の実習経験に触れ、自己の経験を相対化する ③実習で学んだことをこれからの学習や仕事でどのように生かしてゆくか等

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・ 委員会等の名称
教職課程運営委員会
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
医療ビジネス薬科学科長、教職課程専任教員 3 名、医療ビジネス薬科学科教員 4 名、教務課長、就職課長 10 名
- ・ 委員会等の運営方法
委員会を必要に応じて開催。教育実習ガイダンス教育実習事前事後指導とも連動し、教育実習に関するさまざまな問題の解決に対応するとともに、学部全体の連絡調整を行う。

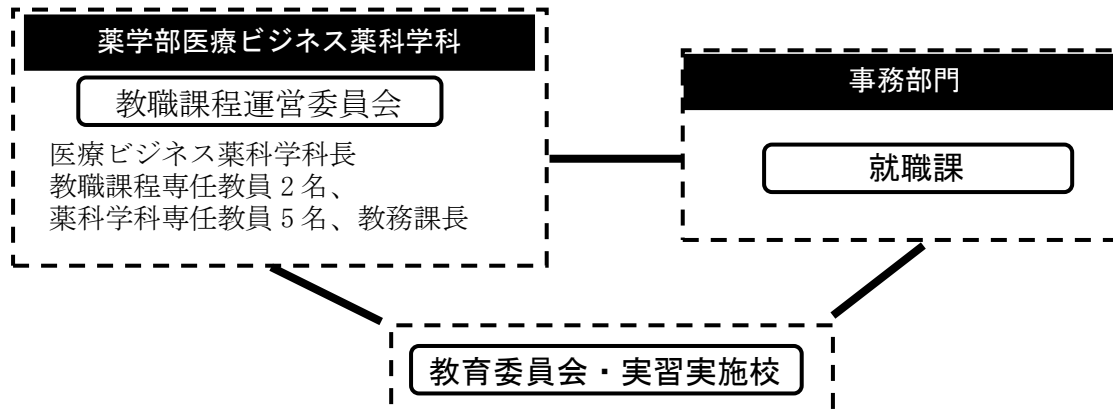
【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- ・ 委員会等の名称
教職課程運営委員会
- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）
医療ビジネス薬科学科長、教職課程専任教員 3 名、医療ビジネス薬科学科教員 4 名、教務課長、就職課長 10 名
- ・ 委員会等の運営方法
医療ビジネス薬科学科が必要に応じて招集する。教育実習の運用にかかわる問題点や要望等について協議し、課題解決を図り、教育実習の円滑化を目指す。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

以下に掲げる科目を履修済みであること。

教職科目について

・教育基礎論（原理・教育史）	2単位	1年次後期開設	必修科目
・教職概論	2単位	1年次後期開設	必修科目
・教育の心理学	2単位	1年次後期開設	必修科目
・理科教育法Ⅰ	2単位	2年次前期開設	必修科目
・教育制度（法規・制度・行政）	2単位	2年次前期開設	必修科目
・生徒指導・進路指導論	2単位	2年次前期開設	必修科目
・理科教育法Ⅱ	2単位	2年次後期開設	必修科目
・教育課程論	2単位	2年次後期開設	必修科目
・教育相談	2単位	2年次後期開設	必修科目

教科専門については

・生活の化学	2単位	1年次前期開設	必修科目
・生薬学	2単位	1年次後期開設	必修科目
・化学講義	2単位	1年次後期開設	必修科目
・生物学講義	2単位	1年次後期開設	必修科目
・生物学基礎実験	1単位	1年次後期開設	必修科目
・物理学講義	2単位	2年次前期開設	必修科目
・化学基礎実験	1単位	2年次前期開設	必修科目
・地学講義	2単位	2年次前期開設	必修科目
・物理学基礎実験	1単位	2年次後期開設	必修科目
・栄養生理学	2単位	2年次後期開設	必修科目
・地学基礎実験	1単位	2年次後期開設	必修科目

5 実習校

教育 実習	体験 活動	学級数の合計	中学校899学級、高等学校3,314学級
○	×	学校名	学校法人都築学園福岡第一高等学校（福岡県福岡市南区玉川町22-1） 学級数：60 生徒数：1,870人
		教員数	89人（内訳）教諭45人、助教諭2人、講師26人、非常勤講師13人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人、実習助手2人
○	×	学校名	学校法人都築学園第一薬科大学付属高等学校（福岡県福岡市南区玉川町22-1） 学級数：20 生徒数：926人
		教員数	40人（内訳）教諭18人、助教諭0人、講師21人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人、実習助手0人
○	×	学校名	学校法人都築教育学園鹿児島第一高等学校（鹿児島県霧島市国分府中214番地） 学級数：10 生徒数：225人
		教員数	28人（内訳）教諭16人、助教諭1人、講師10人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人、実習助手0人
○	×	学校名	学校法人明星学園浦和学院高等学校（埼玉県さいたま市緑区代山172番地） 学級数：71 生徒数：2,415人
		教員数	174人（内訳）教諭135人、助教諭0人、講師35人、養護教諭3人、養護助教諭0人、栄養教諭1人、実習助手0人

○	×	学校名	学校法人佐藤栄学園埼玉栄高等学校（埼玉県さいたま市西区西大宮3丁目11番地1） 学級数：72 生徒数：2,761人		
		教員数	163人（内訳）教諭143人、助教諭0人、講師18人、養護教諭2人、養護助教諭0人、栄養教諭0人、実習助手0人		
○	×	学校名	昌平高等学校（埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851） 学級数：44 生徒数：1,572人		
		教員数	155人（内訳）教諭78人、助教諭0人、講師74人、養護教諭3人、養護助教諭0人、栄養教諭0人、実習助手0人		
○	×	学校名	昌平中学校（埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851） 学級数：10 生徒数：329人		
		教員数	60人（内訳）教諭37人、助教諭0人、講師20人、養護教諭3人、養護助教諭0人、栄養教諭0人、実習助手0人		
○	×	教育委員会名	埼玉県教育委員会	中学校：1校	高等学校：139校
○	×	教育委員会名	さいたま市教育委員会	中学校：59校	高等学校：4校